

『北海道現代史 資料編3（社会・文化・教育）』の概要

第一部 社会・文化

- 第一章 終戦直後の混乱と生活
- 第二章 農山漁村・炭鉱の生活の変化
- 第三章 都市化と都市の生活
- 第四章 戦後北海道の社会の中のアイヌ民族の生活と文化
- 第五章 保健・福祉・医療
- 第六章 社会運動
- 第七章 自然災害と防災
- 第八章 宗教
- 第九章 まつり
- 第一〇章 地域からの情報発信
- 第十一章 食住の変化
- 第十二章 美術・文学
- 第十三章 スポーツ

第二部 教育

- 第一章 占領下の教育改革
- 第二章 教育行政・教育計画
- 第三章 教育条件整備・教育運動
- 第四章 小学校・中学校
- 第五章 高等学校
- 第六章 へき地教育
- 第七章 障がいのある子供の教育
- 第八章 高等教育
- 第九章 アイヌと教育
- 第一〇章 職業教育・職業訓練・就職
- 第十一章 社会教育
- 第十二章 就学前教育・保育、子育て、児童福祉
- 第十三章 少年司法福祉

第一部 社会・文化

	時期 ※出典の時期と相違 ない場合は省略	出典
第一章 終戦直後の混乱と生活		
第一節 外地からの引揚者の支援		
1 引揚者の行政的支援	一九四六年	船泊村「外地引揚者関係 昭和二十一年～昭和二十六年」一九四六～五一年
第二節 自力での物資調達と配給・供出		
2 道庁による製塩の勧め		『北海道新聞』一九四五年九月一日
3 町内会による自主的な石炭の調達		『北海隣組新聞』（『プランゲ文庫』所収）一九四六年一月三〇日
4 配給の実際		『北見新聞』（『プランゲ文庫』所収）一九四七年九月四日、一〇月一〇日
5 十勝地方食糧供出に関する軍政部発表		北海道十勝支庁『食糧供出の栞 昭和二十三年米穀年度』一九四九年
第三節 旧植民地出身者の動向		
6 中国人・朝鮮人の略奪・暴行		北海道庁長官官房秘書課「長官事務引継書 昭和二十年」一九四五年
7 朝鮮人と中国人の送還		『Unit Occupational History Report (February 1946)』一九四六年 『Unit Occupational History Report (May 1946)』一九四六年
第四節 町内会・部落会		
8 町内会部落会の廃止		『北海道庁広報』四二四六号一九四七年三月二五日
9 町内会部落会の実情		柴野一二「町内部落会隣保班解体、禁止に伴ふ疑義についての照会」（北海道総務部地方課「町内会部落会関係 昭和二十二年」所収）一九四八年
第五節 進駐軍への対応		
10 進駐軍関係道路工事		北海道庁長官官房秘書課「長官事務引継書 昭和二十一年二月」一九四六年
11 進駐軍の慰安		北海道庁長官官房秘書課「長官事務引継書 昭和二十年」一九四五年
第六節 進駐軍兵士の不法行為と対進駐軍不法行為		
12 進駐軍兵士による人身被害		全国調達庁職員労働組合「占領期間中の被害者実態調査」（藤目ゆき『占領軍による人身被害調査資料集 第1巻』、二〇二一年 所収）一九五八年九月
13 進駐軍兵士に対する殺人事件		『北海道新聞』一九四五年一月三〇日

第二章 農山漁村・炭鉱の生活の変化

【農山漁村の生活】

第一節 戦後復興期の農山漁村社会

(1) 戦後直後の農山漁村社会

1 北見農村の経済白書	『北見新聞』（『プランゲ文庫』所収）一九四八年三月二四日
2 産児制限に対する世論	北見地区農民同盟事務局『北見農村』六三号（『プランゲ文庫』所収）一九四九年七月
(2) 農山漁村生活の再建への動き	
3 農村生活改善運動の取り組み	北海道農業会議『北方農業』三巻四号一九五三年四月
4 新生活運動の推進とその理念	北海道新生活建設協議会事務局『新生活建設提要』一九五三年
5 むらづくりの実践と農事組合の結成	北海道教育庁社会教育課『北海道におけるむらづくり・まちづくり実践事例集』一九五九年
6 無電化生活とラジオの共同聴取の試み	北海道農業改良普及協会『農家の友』五巻五号一九五三年五月

第二節 高度経済成長期の農山漁村社会

(1) 農山漁村生活における生活様式の変化

7 農山漁村電気導入事業の推進	〔北海道商工部電気事業課〕『農山漁村電気導入事業に関する要請について』一九六一年
8 家電製品の普及と自動車免許の取得	雄勝2婦人会『生活のきろく 第1集』一九六七年

(2) 農山漁村生活における様々な問題状況

9 農家における嫁の地位	十勝農村文化協会『地下水』No.一三 一九六〇年
10① 労働力の流出と農業に対する評価の変化① 我青年会に思う	新川青年会『新青』一号一九六五年三月
10② 労働力の流出と農業に対する評価の変化② 農業女性青年に	新川青年会『しんせい』一号一九八一年三月

(3) 問題状況への対応と対策

11 生活における共同化の推進と共同炊事の試み	北海道農務部農業改良課『農村婦人活動促進事業実施報告書』一九七五年
12 出稼からの脱却を目指す漁村の村づくり運動	北海道総務部知事室道民課『住民運動の歩み』一九六九年
13 農漁村集落団地造成事業の試み	枝幸町長ほか「〔陳情書〕音標漁家団地計画について」（北海道建築部建築課「農漁村住宅集落化計画資料No.2 枝幸町」一九六八年 所収）
14 農業後継者・農村花嫁対策の推進	北海道農村花嫁対策推進連絡協議会・北海道農業会議『農村花嫁対策推進のために』一九七三年
15 自治体による過疎地域振興計画策定の動き	京極町『京極町過疎地域振興計画書』一九七〇年

第三節 高度経済成長期後の農山漁村社会

16 新規就農担い手対策の推進	北海道新規就農青年対策協議会『新規就農青年対策関係資料』一九七九年
17 女性農業者グループによる直売所の経営	〔南幌町農業協同組合女性部なんぼろみどり会〕「なんぼろ みどり会」（旭川市農政部農政課「農村生活改善関係書」二〇〇三年 所収）〔二〇〇二年〕
18 漁協婦人部連絡協議会が始めた「お魚殖やす植樹運動」	北海道・北海道指導漁業協同組合連合会『全道青年・女性漁業者交流大会資料第43回』一九九八年
19 農村と都市の交流を進める取り組み	ファーム・ステイ導入推進会議、浦河町ファームステイ導入推進実行委員会『日高ファームステイ試行結果報告書』一九九〇年
20 農業・農村の多面的機能への注目	旭川市農政課『平成9年度 農村環境手づくり（美しい農村創出事業）関係書』一九九八年

【炭鉱の生活】

第一節 占領下・復興期の炭鉱

(1) 朝鮮人・中国人の動向

21 中国人・朝鮮人の騒擾

『北海道新聞』一九四五年一〇月二一日

(2) 労働者確保策と復興期の生活

22 自家用耕作地

『〔北海道石炭鉱業連盟資料〕2 自家用耕作面積調(調査課)昭21.7調』一九四六年

23 生産性に対応した特別配給

遠幌炭鉱労働組合『地闘』二号一九四八年一二月

24 職員社宅と鉱員社宅

太平洋炭礦株式会社「太平洋炭礦社宅状況調(一九六六=昭和四一年)二〇〇四年二月整理」

25 慰安の取り組み

一九四六年

日曹天塩炭鉱『鉱山文化会関係』一九四六～四七年月

26 労働組合の文化政策

全日本石炭産業労働組合北海道地方本部文化部「炭鉱文化活動基本要旨」(『北海道石炭鉱業連盟資料』所収)一九四八年六月八日

第二節 高度経済成長期の炭鉱の生活

(1) スクラップ・アンド・ビルド政策の影響

27 合理化による炭鉱離職者の創出

北海道炭礦文化研究所『炭礦』一五巻九号
一九六一年九月

28 炭鉱離職者の南米移住

『北海道新聞』一九六一年十一月一九日

(2) 文化活動の課題

29 文化活動の変化と課題

日本炭鉱労働組合『月刊炭労』七六号一九五六年九月

(3) 炭鉱の福利厚生の変化

30 合理化による福利厚生費の削減

太平洋炭礦株式会社「昭和36年度第1回連合経営協議会資料」一九六一年

31 太平洋炭鉱の持家制度

太平洋炭礦株式会社「昭和36年度第2回連合経営協議会会社提案事項」一九六二年

第三節 閉山の進行と炭鉱生活

(1) 変わらぬ炭鉱の生活と炭鉱事故・閉山

32 一九八〇年代の生活と炭鉱事故・閉山

夕張を学ぶ会『夕張学』創刊号二〇〇五年七月

(2) 閉山後の住宅

33 閉山後の居住条件

北炭夕張炭鉱株式会社「昭和五十八年十月以降の住宅・水道・電力等の取扱いについて」(北海道商工観光部石炭鉱政課『夕張新炭鉱離職者対策』一九八四年所収)一九八三年一月

第三章 都市化と都市の生活

第一節 占領下・復興期の都市

(1) 戦後処理

1 建物疎開の戦後補償

北海道庁長官官房秘書課「長官事務引継書 昭和二十一年二月」一九四六年

(2) 戦災都市の復興

2 戦災都市の復興状況

戦災復興院『復興情報』二巻七号一九四六年七月

(3) 闇市

3 闇市の価格

『Price Control, Rationing, and Housing Reports』(『GHQ/SCAP Records, Civil Affairs Section』所収)一九四六年

4 闇市と一般物価の取り締まり

北海道庁「長官事務引継書 其ノ一」一九四七年

(4) 都市住民の自給自足策

5 自給菜園耕作組合

一九四七年

〔小樽市産業課〕〔小樽市自給菜園組員名簿〕一九四八年

(5) 道路の馬糞

6 札幌の道路の馬糞

『北海道新聞』一九五二年一月二五日

7 名寄の馬糞条例

『名寄新聞』一九五八年一月二五日

第二節 高度経済成長期の都市化と都市生活

8 道内初のスーパーマーケット

『北門新報』一九五八年七月九日

9 大型団地の開発

北海道住宅都市部総務課開発事業室『住宅団地の開発』一九九一年

10 都市基盤整備（バスの運行）の要望

千歳市北信濃地区集団住宅代表『北信濃地区住民のためのバスの運行等に関する請願書』一九六五年四月一五日

11 地域コミュニティ計画

千歳市企画課「千歳市北栄地区コミュニティ計画（案）」（同「コミュニティ3冊のうち2」一九七三年 所収）一九七二年

12 都市生活についての世論調査

北海道総務部知事室道民課『北海道政についての世論調査 第5回 都市環境』一九六七年

13 主要都市の塵芥処理

千歳市議会民生常任委員会『北海道都市における塵芥処理の状況』（一九六二年）

14 買物公園の理念と課題

一九七二年

旭川市商工振興課「平和通買物公園関係」一九七三年

15 コンビニの誕生

『北海道新聞』一九七一年七月二三日

第三節 高度経済成長期後の都市生活

16 銭湯の厳しい経営環境に対する助成願

一九七八年

北海道公衆浴場業生活衛生同業組合「陳情要望に関する綴 昭54年以降」〔一九七九年〕

17 個性的な公園

『北海道新聞』一九八三年七月五日

18 脱スパイクタイヤ推進条例

北海道『北海道脱スパイクタイヤ推進条例及び同施行規則』一九八九年

第四章 戦後北海道の社会の中のアイヌ民族の生活と文化

第一節 戦後改革・制度整備期の生活と文化

(1) 北海道アイヌ協会の文化活動

1 機関誌発行に向けた北海道アイヌ協会の活動方針

北海道アイヌ協会文化部編集局「協会機関誌発行ニ関スル件」一九四六年

2 「アイヌプリ」の発行を予告する『アイヌ新聞』記事

アイヌ問題研究所『アイヌ新聞』五号一九四六年五月一日

(2) アイヌ協会支部の生活基盤支援事業

3 浦河支部による住宅等の材木確保の事業

北海道ウタリ協会浦河支部『四十年のあゆみ』一九八六年

4 『アイヌ新聞』が報じた地域の動き

アイヌ新聞社『アイヌ新聞』一号一九四六年六月一日

(3) サハリンからの「引き揚げ」

5 サハリン（樺太）からの「引き揚げ」の体験記録（抄録）

安部洋子、橋田欣典『オホーツクの灯り 樺太、先祖からの村に生まれて』二〇一五年

6 ウイルタの「引き揚げ」の体験記録（抄録）

田中了、D. ゲンダーヌ『ゲンダーヌ ある北方少数民族のドラマ』一九七八年

(4) 「戦後民主主義」のなかの「アイヌ研究」

7 知里真志保による『分類アイヌ語辞典 第1巻 植物篇』の「序言」

知里真志保『分類アイヌ語辞典 第1巻 植物篇』一九五三年

8 日本民族学協会学会誌『季刊 民族学研究』が報じた「アイヌ総合調査」の計画

日本民族学協会『季刊民族学研究』一五巻一号一九五〇年八月

第二節 高度経済成長期の生活と文化

(1) 生活実態とその調査事業

9 北海道による「不良環境地区対策事業」

北海道民生部『不良環境地区対策の推進について』一九六〇年

(2) 多数者の「理解」を求めて

10 萱野茂が著書『アイヌの碑』の中に記録した、道外の学校を廻った体験

萱野茂『アイヌの碑』一九八〇年

11① 吉田菊太郎による、蝦夷文化考古館の設立とその前後の活動 ① 本州への講演の旅

『十勝毎日新聞』一九五八年四月二五日

11② 吉田菊太郎による、蝦夷文化考古館の設立とその前後の活動 ② 「座談会」の開催

『富山新聞』一九五八年六月三日

11③ 吉田菊太郎による、蝦夷文化考古館の設立とその前後の活動 ③ 活動の様子を報じた新聞記事

『北日本新聞』一九五八年六月四日、五日

11④ 吉田菊太郎による、蝦夷文化考古館の設立とその前後の活動 ④ 帰郷したことを伝える吉田の書簡

〔高井弥吉宛て吉田菊太郎書簡〕（幕別町教育委員会『幕別町蝦夷文化考古館吉田菊太郎資料目録2文書資料編』一九九八年 所収）一九五八年

11⑤ 活動 ⑤ 吉田による「アイヌ文化考古館建設について御願」

北海道アイヌ文化保存協会「アイヌ文化考古館建設について御願」（幕別町教育委員会『幕別町蝦夷文化考古館吉田菊太郎資料目録2文書資料編』一九九八年 所収）一九五九年

(3) 伝統的生活・文化への日本社会からの着目

12	金成マツの文化勲章受賞を報じる新聞記事	『北海道新聞』一九五六年三月二八日
13①	北海道による「クマ祭り」の「禁止」 ① 道の通達	『北海道公報』一九五五年三月一〇日
13②	北海道による「クマ祭り」の「禁止」 ② 通達を報じた新聞記事	『北海道新聞』一九五五年三月一六日
14	日本放送協会札幌放送局による「アイヌ伝統音楽」収集整備計画	札幌中央放送局『アイヌ伝統音楽収集整備計画』一九六一年
15	北海道教育庁による「アイヌ民俗文化財緊急調査報告」の序文	北海道教育庁振興部文化課『アイヌ民族文化財緊急調査報告書 無形文化財1 昭和50年度』一九七六年
(4)北海道百年事業等を契機とした動き		
16①	「北海道百年事業」とその当時の社会への想いを述べた新聞投稿	『北海道新聞』一九六八年五月一三日
16②	北海道ウタリ協会による道内の「百年記念事業」等に対する申し入れ	北海道ウタリ協会「市町村における百年記念等事業について」一九六八年七月
第三節 伝統文化の「保存」から「学習」「継承」へ		
17	ヤイユーカラ・アイヌ民族学会による「設立の目的」	ヤイユーカラ・アイヌ民族学会『胎動の書』一九七三年
18	アイヌ文化伝承保存会の設立趣意書	アイヌ文化伝承保存会「アイヌ文化伝承保存会設立の趣意書」一九七四年
19	白老民族文化伝承保存財団「アイヌ民族資料館建設・着工にあたって」	白老民族文化伝承保存財団『白老ポロトコタン 白老民俗資料館報』No.六 一九八三年一月
20	平取町二風谷アイヌ語教室の開設と経過について	『二風谷アイヌ語教室』創刊号一九八八年五月
21	北海道ウタリ協会登別支部「ラ・オマップ及びカムイノミの御案内」	北海道ウタリ協会登別支部「ラ・オマップ及びカムイノミのご案内」一九八八年
22	「重要無形民俗文化財指定記念 北海道アイヌ古式舞踊鑑賞会」公演パンフレットより	北海道ウタリ協会、北海道アイヌ古式舞踊連合保存会『重要無形民俗文化財指定記念 北海道アイヌ古式舞踊鑑賞会』一九八五年二月
23	第1回「アイヌ民族文化祭」パンフレットより	北海道ウタリ協会『アイヌ民族文化祭 ヌヤン・ヌカラン・ピラサレヤン 北の歴史・文化・そして今』一九八九年三月
24	アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律（アイヌ文化振興法）	平成九年法律第五二号

第五章 保健・福祉・医療

第一節 戦後の制度整備期の公衆衛生

(1) 衛生状態

1 道民の健康と衛生の一般状態

北海道庁長官官房秘書課「長官事務引継書 昭和二十年」一九四五年

(2) 伝染病の防疫体制

2 伝染病防疫について

北海道庁「長官事務引継書 其ノ一」一九四七年

3 礼文「ねずみ捕り」替え歌

礼文郡船泊村「ねずみ一斉駆除実施資料」一九五五年

第二節 医療・保健資源の配置

(1) 医療者の適性配置

4 へき地診療所設置計画

北海道衛生部『へき地診療所設置計画案』一九六〇年

5 地域医療の混乱是正

旭川市医師会「要望書」一九八七年

第三節 疾病とその対策

(1) ポリオの流行とその対策

6 中間報告

北海道衛生部『北海道における昭和35年度ポリオ流行の現況とその対策』〔一九六一年〕

(2) 被爆者への医療

7 被爆者健康診断

北海道衛生部保健予防課「北海道在住原爆被爆者特別健康診断報告書 昭和44年度」(同「原爆医療昭和44年度」一九七〇年 所収)〔一九六九年〕

(3) スモン病と患者団体の活動

8 知事への要請書

北海道スモンの会『北海道スモンの会綴』一九八〇年

第四節 地域の健康と福祉

(1) 住民にこたえる保健所づくり

9 北海道レベルでの問題

一九七三年

自治労全北海道庁労働組合理化対策部『住民にこたえる保健所づくりをめざして 第一回保健所シンポジウムから』一九七四年

(2) 医療と福祉の改善

10 いのちとくらしを守る要求書

北海道生活環境部消費生活課「各種団体からの要望等 48年度」一九七四年

(3) 婦人相談所の概況

11 婦人相談所の概況

北海道民生部児童家庭課『婦人保護事業の概況 昭和53年度』〔一九七九年〕

第五節 医療制度の変遷

(1) 精神医療

12 地域精神衛生

十勝ソーシャル・ワーク研究会『P&M SOCIAL WORK創刊号』一九七〇年一〇月

(2) 農村医学の変遷

13 三〇年の変容概観

『北海道医療新聞』一九八〇年三月一日

第六節 二〇世紀末の医療・福祉課題

(1) 働き過ぎと過労死

14 過労死の原因と背景

『北海道医療新聞』一九九七年二月二日

(2) 介護保険制度の創設

15 介護保険制度施行準備日程

北海道保健福祉部高齢者保健福祉課「介護保険関係資料」(北海道十勝支庁総務部社会福祉課「介護保険制度推進連絡協議会(5月開催)」二〇〇〇年所収)一九九九年

第六章 社会運動

【市民・環境・政治運動】

第一節 「高度経済成長」と大規模開発と社会運動

(1) ダム建設をめぐる住民運動

1 岩尾内ダム建設に対する要望	一九六三年	北海道上川支庁地方部総務課「岩尾内ダム建設経緯 38 1」一九六四年
2 岩尾内ダム建設後も残る住民からの要望	一九六四年	北海道上川支庁地方部総務課「岩尾内ダム建設経緯 40 4」一九六五年

(2) 伊達火力発電所建設をめぐる社会運動

3 賛成派の主張	一九七二年	北海道胆振支庁経済部水産課「伊達火発関係 45.1~47.11」一九七〇~七三年
4 反対派の主張	一九七二年	北海道胆振支庁経済部水産課「伊達火発関係 45.1~47.11」一九七〇~七三年
5 環境権訴訟	一九七二年	蛇田地区労働組合協議会『伊達火発トリコール運動記録誌』一九七七年

(3) 小樽運河保存問題

6 100人委員会アピール		小樽商工会議所『運河関係 昭和58年』一九八三年
7 青年会議所の主張		小樽商工会議所『運河関係 昭和58年』一九八三年

第二節 自衛隊・海兵隊と反対運動

(1) 長沼事件

8 長沼事件に関わる反対運動の声明		長沼町ミサイル基地設置反対共闘会議「声明文」（三宅信一「矢白別のたたかい 5」一九六八年 所収）
-------------------	--	--

(2) 矢白別演習場に対する抵抗

9 計画公表直後の農民の要請		厚岸郡浜中村西門朱別奥地開拓計画推進協議会ほか「陳情書」（三宅信一「矢白別のたたかい 2」一九六六年 所収）
10 平和盆踊り大会		〔第5回矢白別平和盆おどり大会 参加のしおり〕（三宅信一「矢白別のたたかい 1」一九六九年所収）
11 川瀬氏の決意		川瀬瀨二氏「三宅信一氏への手紙」（『矢白別のたたかい③』所収）一九六七年二月

第三節 「組織」の運動から「市民」の運動へ

(1) 職域生協から市民生協への転換

12 札幌市民生協の設立		札幌市民生活協同組合『昭和41年度 事業報告書・事業計画書』一九六六年
--------------	--	-------------------------------------

(2) 札幌ベ平連

13 北海道各地 ベ平連の動き		札幌ベ平連『札幌・ベ平連ニュース』No.15一九六八年一月
14 長沼ミサイル基地フンサイ！		札幌ベ平連『札幌にゆうす』No.29一九七〇年四月

(3) 地域を拓くシンポジウム

15 「地域を拓く」シンポジウムへの参加の呼びかけ		〔札幌「ときはなて！まつり80」実行委員会、地域シンポジウム企画グループ（伊達一三里塚と共に歩む会他）作成パンフレット〕〔一九八〇年〕
16 地域をひらくシンポジウム81報告：札幌の運動総括		『地域を拓くシンポジウム No. 1』一九八一年
17 趣意書		ピープルズ・プラン・21世紀実行委員会『ピープルズ プラン 21世紀 北海道』一九八八年

第四節 「主婦」の社会運動参加

(1) 生活クラブ生協の理念

18 生活クラブ生活協同組合設立趣意書		生活クラブ生活協同組合設立発起人会「創立総会議案書」一九八二年
19 石鹼利用促進条例に係る直接請求		生活クラブ生活協同組合編集委員会『チュブ』No.6 一九八三年九月
20 市民ネットワーク北海道		生活クラブ生活協同組合「元気に政治する会 1990年4月~1991年2月」〔一九九五年〕
21 ワーカーズコレクティブ設立趣意書		「ワーカーズ・コレクティブ設立総会」一九八六年

(2)北海道グリーンファンド	
22 設立趣意書	『北海道グリーンファンド設立趣意書』一九九九年
23 市民風車	『北海道グリーンファンドNews Letter』No.一三二〇〇一年
(3)NPOの時代	
24 中間支援組織の設立	北海道エヌピーオーサポートセンター「道庁からのNPO法人の設立認証申請書」一九九九年
第五節 核・原子力をめぐる社会運動	
(1)幌延問題	
25 反対申し入れ	日本社会党道本部『社会新報 道本部速報No.3』（「幌延核廃棄物処理施設反対運動関係」一九八五年 所収）一九八五年一〇月九日
26 深地層研究所反対の申し入れ	核廃棄物施設誘致に反対する道北連絡協議会『幌延問題資料集』二〇〇〇年
(2)泊原発	
27 署名の結果	生活クラブ生協北海道『チュブ』No.六八 一九八八年
28 泊3号機増設反対の申し入れ	生活クラブ生協北海道『2000年度理事会資料30 2000年4月～2000年7月』
第六節 自然保護・環境運動の隆盛	
(1)千歳川放水路	
29 公開質問状	北海道自然保護協会他『地域づくり委員会（一九九七年）』No.一 一九九七年二月
(2)土幌高原道路	
30 弁護士会による調査	『札幌弁護士会会報』No.三一 一九九五年一月
(3)当別ダム上流部リゾート開発	
31 反対のアピール	『当別ダム上流部のゴルフ場建設計画に反対する市民連絡会ニュース』No.一（市民ネットワーク北海道「ネット全体委員会」（一九九六年）所収）一九九七年二月
(4)西岡水源地問題	
32 ボート乗り場建設	日本野鳥の会札幌支部『カッコウ』三七号一九八五年一月
第七節 身近な環境を守る住民運動	
(1)丘珠空港	
33 住民による反対請願	市民ネットワーク北海道『'95全体委員会①』一九九五年
(2)マンション建設反対	
34 精進川河畔に建設予定のマンション	豊平・自然と暮らしを見つめる市民の会『ネット全体委員会（一九九六年）』一九九六年

【障がい者運動】

第一節 障害者への人権侵害：旧優生保護法	
35 北海道の文書	北海道衛生部・北海道優生保護審査会「道立文書館資料」一九五六年
第二節 入所施設設置運動	
36 知的障害者（精神薄弱者）運動	北海道精神薄弱児育成会『北海道手をつなぐ親の会 会報』一卷一号一九五五年二月
37 北海道福祉村構想	北海道重傷者福祉村建設推進委員会『北海道重傷者福祉村建設趣意書（主として脳性マヒ）』一号一九六六年
38 施設運営の活性化をめざして	北海道社会福祉事業団太陽の園『やまのおと』一号 一九八四年
第三節 障害当事者による障害者運動：地域生活の実現	
39 障害当事者自身の声	すみれ会『すみれ会便り』No.一二 一九七四年
40 障害のある人々の生活改善	障害者の生活と権利を守る北海道連絡協議会『障道協』三四号一九八三年
41 調査と人権の問題	北海道総務部審議室道民課「陳情書 No.916～988 19冊のうち18号」一九八四年
42① D P I 世界会議札幌大会に向けて	北海道道路管理技術センター『北の交差点』一〇号 二〇〇一年
42② D P I 世界会議札幌大会を終えて	北海道道路管理技術センター『北の交差点』一三号 二〇〇三年

【女性の人権をもとめる団体活動】

第一節 女性団体の活動再開	
(1) 女性団体の活動再開	
43 白雪会の活動	一九三四年～四六年 白雪会『白雪会45年のあゆみ』一九七八年
第二節 戦後女性の人権問題と北海道の対策	
(1) 戦後の課題の把握	
44 売春に関する実態調査	北海道民生部婦人児童課『街娼についての調査』一九六一年
第三節 高度経済成長期と女性団体の活動の活発化	
(1) 連携する婦人団体	
45 北海道婦人団体連絡協議会の結成	北海道婦人団体連絡協議会「道婦連協」創刊号（北海道教育庁社会教育課「全道婦人団体連絡協議会結成経過綴 昭和三十二年」一九五七～六〇年 所収）一九五七年一月
46 命の安売りはゴメン	住友赤平主婦会『赤平主婦新聞』一七一号一九六九年一月
(2) 婦人団体の役割と組織状況	
47 声を上げる	北海道総務部青少年婦人事務局『北海道における婦人団体の概要』一九七〇年
48 働く婦人による知事への請願	札幌婦人問題研究会『前進する婦人 12』一九七七年七月
第四節 男女平等参画の社会を目指して	
(1) 北海道女性の自立プラン	
49 女性のための施策への提言	札幌市婦人問題懇話会『札幌市の女性のための施策への提言』一九八二年
50 北海道自立プラン	北海道生活環境部道民運動推進本部青少年婦人局「北海道女性の自立プラン（婦人行動計画）関係資料 No. 1」一九八八年
(2) 国際会議と道民女性の参加	
51 ナイロビ世界会議	北海道生活環境部道民運動推進本部青少年婦人局『「国連婦人の十年」 ナイロビ世界会議NGOフォーラム報告書』一九八六年
52 北京世界女性会議	札幌市市民局青少年女性部女性企画課『さっぽろの女性』VOL. 一 一九九六年三月
(3) 男女平等参画の阻害要因への取り組み	
53 北海道の女性に対する暴力調査	女のスペース・おん通信編集委員会『女のスペース・おん通信』vol. 九四 二〇〇一年三月

第七章 自然災害と防災

第一節 占領下・復興期の自然災害

(1) 1952年十勝沖地震

1 十勝沖地震の記録にあたって

一九五二年三月

北海道十勝支庁『十勝沖地震の記録』一九五四年

(2) 1954年洞爺丸台風

2 洞爺丸台風による遺体収容

一九五四年九月

青函船舶鉄道管理局『洞爺丸台風海難誌』一九六五年

第二節 冷害とその影響

(1) 1953・1954・1956年冷害

3 冷害による人身売買対策

北海道総務部総合開発企画本部企画課『昭和三十二年北海道冷害誌』一九五八

4 町財政への冷害の影響

『上富良野新聞』一九五六年一月一日

(2) 1964年冷害

5 冷害による生活保護対策

北海道空知支庁「冷害関係 昭和39年度」一九六五年

(3) 冷害による移民への衝動

6 冷害農家の南米への移民計画と要望

『北海道新聞』一九五六年一月九日

(4) 戦後海外移住状況

7 職業別移住者数と支庁別移住者数

北海道『海外移住関係資料』一九七二年

第三節 高度経済成長期の自然災害

(1) 1962年十勝岳噴火

8 十勝岳噴火の記録

一九六二年五～七月

北海道新得保健所「十勝岳噴煙関係」一九六九年

(2) 1968年十勝沖地震

9 一九六八年十勝沖地震と津波

北海道浦河保健所「一九六八年十勝沖地震対策関係綴 昭和四十三年」一九六八年

第四節 高度経済成長期後の自然災害

(1) 1977年有珠山噴火

10 一九七七年有珠山噴火／二週間の記録

洞爺村『広報 とうや』No.一二九 一九七七年九月

(2) 1981年石狩川洪水（台風第12・15号）

11 石狩川洪水体験記

江別市教育研究会小・中国語部会『水害 水害体験作文集』一九八三年

(3) 北海道南西沖地震

12 北海道南西沖地震と津波

一九九三年七月

北海道南西沖地震記録書作成委員会『平成5年7月12日 北海道南西沖地震記録書』一九九五年

13 燃える青苗の町

一九九三年七月

北海道奥尻高等学校『北海道南西沖地震記録集』一九九四年

(4) 2000年有珠山噴火

14 聴覚障害者の避難と支援

有珠山噴火災害聴覚障害者対策本部『有珠山噴火災害聴覚障害者支援活動の記録』二〇〇一年

第八章 宗教

第一節 戦争の爪痕と復興への模索

1 北海道の教勢（キリスト教）	日本基督教団北海教区『北海教区伝道部通信 1』一九四九年六月
2 北大寄付講座（真宗大谷派）	真宗大谷派北海道教務所『北海真宗』一四号一九四九年八月
3 真宗大谷派の教勢	真宗大谷派宗務所『真宗』第五七〇号一九五〇年六月
4 戦犯釈放運動（東西本願寺）	真宗大谷派北海道教務所『北海真宗』七巻三号 一九五三年三月
5 樺太からの引揚げ教会（天理教）	天理教校『求道』三六号一九七八年

第二節 経済成長期の教線拡大と葛藤

6① 夕張事件①	日本炭鉱労働組合北海道地方本部『第11回定期大会 報告・議案資料』一九五八年
6② 夕張事件②	『北海道新聞』一九五七年七月五日
7① 北海道開拓伝道①	日本キリスト教団北海教区『あかしびと』五四号一九六一年一月
7② 北海道開拓伝道②	日本基督教団宣教研究所『開拓伝道の研究 北海道特別開拓伝道調査をもとにして』一九六四年
7③ 北海道開拓伝道③	日本キリスト教団北海教区「北海教区育成強化五カ年計画」一九六二年
8 都市化と伝道	真宗大谷派北海道教務所『北海真宗』一七巻八号一九六三年一〇月
9 閉山と寺院	真宗大谷派北海道教務所『北海真宗』二二巻一二号一九六八年一二月

第三節 人口減少社会・個人化社会のさきどり

10① 教誨師の活動①	全国教誨師連盟・財団法人北海道教誨師連盟『第一二回北海道教誨師研修大会要項』一九七一年
10② 教誨師の活動②	全国教誨師連盟・財団法人北海道教誨師連盟『第16回北海道教誨師研修大会要項』一九七五年
11 いのちの電話開設	北海道いのちの電話発起人会〔いのちの電話発起人会綴〕〔一九七七年〕

第九章 まつり

第一節 占領下・復興期のまつり

(1) 仏教のまつりの大衆化

1 GHQ文書が記録した札幌花まつり

「Information Techniques/Entertainment」『GHQ/SCAP Records, Civil Affairs Section』〔一九五〇年〕

(2) GHQの祭りへの視線

2 卑猥な踊りは困る

『北海道新聞』一九五〇年七月二七日

(3) 観光を目的とした祭り

3 観光温泉祭り

『北海道新聞』一九四九年七月二四日

(4) 冬のまつり

4 第1回さっぽろ雪まつり

『北海タイムス』一九五〇年二月一日

5 冬まつりのルーツを探る

北の編集室『ふるさと十勝』二五号 一九七九年一月

(5) 戦後の夏まつり

6 さっぽろ夏まつりの誕生と歩み

一九五四～五九年

札幌夏まつり実行委員会『札幌夏まつり50年』二〇〇三年

(6) 食の祭りのさきがけ

7 サケ供養としてのあきあじ祭り

『北門新報』一九五三年一〇月二〇日

8 イベントとしてのさけ祭り

石狩町『いしかり町広報』五九・六〇合併号 一九五六年八月

第二節 観光目的のまつりへの批判と新しいまつり

(1) 祭りへの批判的まなざし

9 はんらんするお祭り

『北海道新聞』一九五九年九月六日

(2) 北海ヘソ祭り

10 第1回北海ヘソ祭り

富良野市郷土研究会『富良野こぼれ話 続』 一九八四年

(3) 人間ばん馬大会

11 盛り上がる人間ばん馬

『置戸タイムス』一九八二年七月一日

(4) 北海道三大あんどん祭り

12 夜高あんどん祭り

一九七六～八六年

沼田町夜高あんどん保存会ほか『夜高あんどん祭り25周年記念写真集』二〇〇二年

13 八雲山車行列のルーツ

八雲町『広報やくも』一九八二年一月

14 斜里ねぶた

『北海道新聞』一九八三年七月一日

第三節 祭りへのまなざしの変化と更なるまつりの創造

(1) 増加するまつり

15 九百七十二にのぼる札幌の祭り

札幌市広報課『グラフさっぽろ』二号 一九八二年一月

(2) オーケストラの祭典

16 さっぽろ・夏の音楽祭 (PMF)

札幌市『広報さっぽろ 中央区版』 一九九〇年六月

(3) YOSAKOIソーラン祭り

17 第1回よさこいソーラン祭りとその意義

『北海道新聞』一九九二年六月一四日、一五日

(4) 祭りの統合

18 一本化したなよろの夏まつり

『名寄新聞』一九九六年七月一九日、八月一日

第一〇章 地域からの情報発信

第一節 農村における有線放送

1 有線放送施設の普及とその意義

全国共同出版『農業協同組合 経営実務』九巻七号 一九五四年七月

第二節 地方紙の簇生と成長

2 新北海の「創刊の言葉」

『新北海』一九四六年八月三日

3 根室新聞の「創刊の辞」「百号を迎えて」

『根室新聞』（『プランゲ文庫』所収）一九四七年一月六日、九月一日

4 日刊宗谷の「創刊のことば」

『日刊宗谷』（『プランゲ文庫』所収）一九四八年一月一日

第三節 農村型ケーブルテレビ（CATV）の登場

5 穂別町営の穂別町社会教育テレビ

穂別町『広報ほべつ』一四二号一九七二年五月

6 池田町営有線テレビ局と定時放送

池田町『広報いけだ』四〇四号一九八七年一月

7 西興部村CATVと自主放送サービス

西興部村『広報にしおこっぺ』一九七号 一九八九年一月

第四節 郷土誌からタウン誌へ

8 月刊はこだて〈街〉

有限会社街『タウン誌・街』四〇〇号 一九九五年

9 月刊おたる

月刊おたる社『月刊おたる』五〇号 一九六八年

10 旭川春秋

有限会社旭川春秋「日刊旭川春秋」三六三号 一九九五年九月

11 月刊ポケットむろらん

ポケットむろらん社『月刊ポケットむろらん』創刊号 一九七三年九月

12 ふるさと十勝

北の編集室『ふるさと十勝』五九号 一九八二年一月

第五節 ミニコミ誌の隆盛とその性格変化

13 市民会議ニュース（帯広市）

公害対策市民会議『市民会議ニュース』No.1 一九七二年八月五日

14 暮らしを洗おう（札幌市）

合成洗剤を追放しよう！直接請求実行委員会『生活情報誌 暮らしを洗おう』VOL.二 一九八四年五月

15 十勝ミニコミ・ネットワーク

とちちミニコミ・ネットワーク「ミニコミのミニコミ」創刊号 一九八八年九月

16 なもないミニコミ誌（八雲町）

なもないミニコミ編集室「なもないミニコミ誌」創刊号 一九九〇年六月

第六節 コミュニティFM放送局のひろがり

17 全国第一号「FMいるか」（函館市）の開局

〔インタビュー記録〕対象者 西野鷹志（FMいるか社長（当時））、調査者 小内純子、日時 二〇〇二年二月二〇日

18 「FMねむろ」の開局

『根室新聞』一九九九年一月二五日

19 放送サポーター&スタッフシンポジウムの開催

放送サポーター&スタッフシンポジウム実行委員会「放送サポーター&スタッフシンポジウムの概要について（実施要綱）」二〇〇二年一月二日

第一章 食住の変化

【食文化】

第一節 食生活の変化の兆し

(1) パン食の普及と洋食浸透

1 主食の選び方

中村孝二郎『開拓地の寒地生活』一九五二年

(2) 道立滝川種羊場の活動

2 羊肉の普及

北海道立種羊場『羊肉の調理・加工法』一九五四年

第二節 食生活の洋風化、多様化

(1) 食生活の洋風化

3 これからの食生活

北海道消費者協会『くらしのハンドブック 第3集 健康なくらし』一九六六年

(2) 十勝ワインの誕生

4 ワイン試験製造の許可

十勝池田税務署「果実酒類（果実酒、甘味果実酒）の試験製造免許の通知について」一九六三年

5 国際コンクールでの快挙

〔ワイン国際コンクールの結果通知〕（池田町ブドウ・ブドウ酒研究所「昭和40～60年度ワインコンクール」所収）一九六四年九月一日

(3) 道産素材を用いた新規嗜好品の展開

6 ハスカップを活用した商品開発

千歳市農業協同組合ハスカップの里運営協議会「第五回ハスカップの里運営協議会定期総会」一九八三年

第三節 量から質への転換

(1) 道産米の改良

7 良食味米（きらら397）の誕生

北海道立上川農業試験場むーべる会『むーべる一九～二七号』一九八九～九七年

(2) 人気沸騰のスープカレー

8 「スープカレー」認知の広がりとその背景

一九九九～二〇〇五年頃

〔インタビュー記録〕対象者 井出剛（スープカレー店店主）、聞き手 荒川義人、秋野禎木、日時 二〇二〇年一月一日、場所 サッポロきとらんど（札幌市東区丘珠町584-2 きとらんどセンター）

【住文化】

第一節 戦後の住宅政策のはじまり

(1) 開拓使以来の住宅不足

9 田中知事の寒地住宅政策

一九四七年

田中敏文伝刊行委員会『田中敏文を偲ぶ』一九八四年

(2) 北方生活文化確立のための寒地住宅

10 北海道の住宅事情とその対策

北海道住宅建設協会『北方住宅』一卷一号 一九四九年一月

第二節 敗戦後一〇年の住宅政策

(1) 十数万戸以上の住宅不足

11 北海道総合計画における住宅対策

北海道建築部住宅課『住宅年報 北海道 1945～54』一九五五年

(2) 寒地建築研究の推進

12 寒地建築研究所の設立をめざして

日本住宅協会『住宅』vol. 四No.七 一九五五年七月

第三節 防寒型住宅促進法と課題

(1) 寒地住宅の成立

13 三角屋根コンクリートブロック造住宅

一九五五年頃

日本の近代・現代を支えた建築—建築技術100選—委員会『日本の近代・現代を支えた建築』二〇一九年

(2) ブロック造住宅の課題

14 木造防寒住宅への移行と新たな課題

北海道建築指導センター『センターレポート』No.一一 一九七五年八月

第四節 住宅都市部と郊外型大団地の誕生

(1) 建築部から住宅都市部への歩み

15 道立寒地建築研究所設立と住宅都市部誕生

建築・住宅都市行政50周年記念事業実行委員会『建築・住宅都市行政50年の歩みそして21世紀へ』一九九九年

(2) 郊外型大団地の誕生

16 真駒内、大麻、北広島の三団地開発

建築・住宅都市行政50周年記念事業実行委員会『建築・住宅都市行政50年の歩みそして21世紀へ』一九九九

第五節 北方型住宅への展開

(1) 断熱・機密を制御する省エネ住宅

17 北方型住宅の概要

北海道建設部住宅局建築指導課『北方型住宅 1988 | 2013』

(2) 高断熱・高气密技術の展開

18 新たな北方生活文化の創造

日本建築学会『建築雑誌』一一八巻一五〇三号 二〇〇三年三月

第一章 美術・文学

【美術】

第一節 戦後の復興

(1) 全道美術協会の設立

1 第三回展の開催

一九四八年

全道美術協会事務局『第三回全道展出品目録』一九四八年

(2) 炭鉱町と美術

2 瀝青展発足（夕張）

北海道炭礦汽船株式会社札幌事務所『炭光』一九五〇年一二月

3 第九回炭鉱絵画展

〔日本炭鉱労働組合北海道地方本部、北海道石炭鉱業連盟主催 第九回炭鉱絵画展パンフレット〕一九五七年

(3) 北海道アンデパンダン（旭川）

4 第一六回展

一九五六年

北海道アンデパンダン美術協会『北海道アンデパンダン 第16回展目録』一九五六年

(4) 新北海道美術協会創立と展覧会開催

5 新北海道美術会規約草案

「新北海道美術会規約草案」一九五六年

第二節 美術館設立運動

(1) 「北海道美術館」設立運動

6 設立運動のおこり

『北海道新聞』一九六〇年一〇月二六日

7 三岸好太郎遺作の受贈と道立美術館

北海道新聞』一九六七年二月二三日

(2) 函館美術界と赤光社（仮）

8 赤光社美術協会（函館）50周年と地域文化の見直し（仮）

赤光社美術協会『赤光社五〇周年記念箱館周辺の美術文化』一九七一年

9 赤光社美術協会（函館）による美術館建設請願運動（仮）

赤光社美術協会「函館に美術館を！ 請願署名要旨」一九七五年

第三節 現代美術展の国際化

(1) サッポロトリエンナーレ開催

10 開催の経緯と3度の展覧会

一九八一、八四、八年

TODAY『ART TODAY 1989 Sapporo Triennale 1981・1984・1987』一九九〇年

(2) 札幌アーティスト・イン・レジデンスの活動

11 一九九九～二〇〇二年までの活動

札幌アーティスト・イン・レジデンス事務局『SAPPORO ARTISIT IN RESIDENCE S-AIR 2003-2004』二〇〇四年

【文学】

第一節 戦後の出発

12 不安と熱情

冬濤編輯所『冬濤』創刊号一九四六年三月

13 北海道から

札幌文学会『札幌文学』一号一九五〇年一月

14 路線の対立

文学集団裸人群『裸人群』一号一九五〇年五月

第二節 「北海道文学」へ

15 理論化をめざして

位置の会『位置』創刊号一九六二年一月

16 神話の頂点へ

北海道文学館事務局『北海道文学館報』一号 一九六七年六月

17 神話の解体

熱月社『熱月』四号 一九七五年二月

第三節 様々な意匠

18 それぞれの方法

異徒の会『異徒』一号 一九八〇年五月

19 交流の分断

『北海道近代文学懇話会会報』No.一 一九九四年六月

20 結束の模索

創映出版『妖』一号 一九九四年九月

21 ひとつの終焉

北方文芸刊行会『北方文芸』三五〇号 一九九七年三月

22 多様な可能性

ブレーメン館編集部『ブレーメン館』創刊号 二〇〇三年六月

第一三章 スポーツ

第一節 国際・国内・道内のビッグイベント

1 第九回国民体育大会・北海道国体		第9回国民体育大会北海道組織委員会編『第九回国民体育大会報告書』一九五五年
2 第四回国民体育大会・はまなす国体		北海道生活環境部国民体育大会事務局『君よ今、北の大地の風となれ 64年はまなす国体の成功をめざして』〔一九八六年〕
3 北海道障害者スポーツ大会		『釧路新聞』一九九九年六月二五日、七月四日

第二節 プロ・スポーツを楽しむ

4 吉葉山・悲願の初優勝		『北海タイムス』一九五四年一月二五日
--------------	--	--------------------

第三節 社会人スポーツの隆盛と翳り

5 王子製紙アイスホッケー部の活躍		『王子製紙社史 戦後三十年の歩み』一九八二年
6 拓銀野球部、産業対抗野球で初優勝		佐藤安彦『球道三十年 拓銀野球部闘いの記録』一九八〇年
7 大昭和製紙北海道、都市対抗野球で初優勝		大昭和製紙野球部史編集委員会『大昭和製紙野球部史 白老編 北の若き獅子たち』一九八五年

第四節 市民スポーツのひろがり

8 ゲートボール生誕の地（芽室町）	一九四七年	芽室町ゲートボール推進協議会『ゲートボール生誕70年記念誌』二〇一八年
9 下川ジャンプ少年団（下川町）		下川町『広報しもかわ』No.三二〇 一九八八年二月
10 カーリング（常呂町）		常呂町『広報ところ』No.三五五 一九八九年三月
11 ミニバレー（大樹町）		帯広信用金庫『トーク・バザール 帯広しんきん情報』VOL.四一 一九九七年一〇月
12 パークゴルフ（幕別町）		幕別町『広報まくべつ』No.四二八 一九八七年九月
13 昭和新山国際雪合戦（壮瞥町）		壮瞥町『広報そうべつ』No.四一三 一九九八年四月
14 アイスストッカー（広尾町）		『十勝毎日新聞』一九九六年一月一六日
15 長靴アイスホッケー（釧路町）		釧路町『町報くしろ』No.一三一 一九九一年一月
16 かんじきソフトボール（黒松内町）		黒松内町『広報くろまつない』一九六号 一九九二年九月
17 フロアカーリング（新得町）		『十勝毎日新聞』一九九九年三月二四日

第二部 教育

	時期 ※出典の時期と相違 ない場合は省略	出典
第一章 占領下の教育改革		
第一節 占領の開始と連合軍の指令、学校視察		
1 敗戦時の熊谷北海道長官の訓示	一九四五年	庁立函館中学校「昭和二十年六月以降昭和十七年五月以降 会議録」一九四五～五四年
2 戦争終結後の民心指導に関する件		西創成国民学校「昭和二十年八月以降 終戦二伴フ指令・指示並二処理文書綴」一九四五年一〇月一日
3 進駐軍来道に伴う学校側の措置に関する件		西創成国民学校「昭和二十年八月以降 終戦二伴フ指令・指示並二処理文書綴」一九四五年一〇月三日
4 函館中学校の休校の状況		北海道庁立函館中学校「教務日誌 昭和二十年～昭和二十五年」一九四五年九月二一日～一〇月一三日
5 三教科停止指令への学校側の対応		白石国民学校『公文書綴 昭和二十一年度』一九四六年五月二三日
6 教師適格審査		白石国民学校『公文書綴 昭和二十一年度』一九四六年五月二八日
7 指令の徹底について	一九四七年	当麻村役場「教育関係例規並通牒綴（連合軍指令）昭和二十二年起」（マイクロ資料）一九四六～四九年
8 占領最初期の情報部員による学校視察		『北海道新聞』一九四五年一〇月二五日
9 学校視察の質問内容に関する二つの例	一九四六年	当麻村立伊香牛小学校「終戦二伴フ通牒綴 昭和二十年九月以降」一九四五～四八年
10 MGレポートの学校視察についての報告		北海道地区軍政部「軍政レポート」一九四七年五月
第二節 占領軍の教育施策への指導		
11 講演会での指導		『北海道新聞』一九四六年一月八日
12 P T A設立と運営	一九四八年	札幌市立中島中学校記念誌発行委員会「中島中学校 開校二十五周年記念」一九七二年
13 教員組合への牽制①	一九四八年	北海道釧路国支庁教育課「連合軍最高司令部指示による学校社会教育に関する重要事項 昭和二十一年起」一九四六～四八年
14 教員組合への牽制②	一九四八年	北海道釧路国支庁教育課「連合軍最高司令部指示による学校社会教育に関する重要事項 昭和二十一年起」一九四六～四八年
15 モデルスクールへの指導		札幌市立一条中学校『一条中学研究叢書 第三編本校経営の概況』一九四八年一〇月一六日
16 学校再編成		『北海道新聞』一九四九年三月二七日
17 高校入試		『北海道新聞』一九五〇年一月五日
18 教育委員会選挙などへの指導		『北海道新聞』一九五〇年一月一〇日
19 教育委員会への指導		『北海道教育委員会月報』一巻七号一九五〇年二月
20 アメリカの教育方法		北海道教育委員会『北海道教育月報』二巻六号一九五一年九月
21 ニプロ課長への感謝状		『北海道教育委員会月報』一巻四号一九五〇年八月
22 占領管理機構の終わり ヘーガーの挨拶		北海道教育委員会『北海道教育月報』二巻一〇号一九五二年一月

第二章 教育行政・教育計画

第一節 教育委員会の設置と選挙

1 第一回北海道教育委員会委員通常選挙	一九四八年	山本紘照、北海道選挙管理委員会『北海道選挙大観』一九四九年
2 教委選なぜ低調だった		『北海道新聞』一九五二年一〇月六日
3 地教委の廃止に反対する運動の展開方について		北海道町村教育委員会連合協議会『教育速報 北海道地方教育委員会』四号一九五三年十一月二二日

第二節 地域教育計画と研究体制

4 北海道における教育研究所	一九四九年	北海道教育研究所連盟『北海道教育研究所連盟十五年の歩み』一九六五年
5 北海道教育課程		北海道教育委員会『北海道教育課程 目標とその解説』一九五二年
6 大滝村学校教育基底計画		大滝村教育委員会『大滝村学校教育基底計画 第一輯 教育目標 教育調査 作製経過 記念寄稿』一九五四年
7 北海道開発のための教育計画		『北海道大学教育学部学報』一号一九五二年四月

第三章 教育条件整備・教育運動

第一節 教育条件整備・教員配置

1 教育財政 昭和二六年度予算		北海道教育委員会調査課『北海道教育概要 1951年版』一九五一年
2 学校施設の状況		北海道教育委員会調査課『北海道教育概要 1951年版』一九五一年
3 教員資格の構成状況		北海道教育委員会『北海道教育行政概要 昭和29年度』一九五五年
4 教員勤務負担量調査		北海道教育委員会調査課『教員勤務負担量調査 自昭和27年1月21日～至昭和27年1月26日』一九五二年
5 広域人事		北海道教育委員会『教育月報』一六六号一九六四年一二月

第二節 教育運動・教育政治

6 勤評闘争	一九五八年	北海道教職員組合『北教組史 第3集』一九八二年
7 教育課程研究協議会に関する確認事項	1960年2月6日	北海道教職員組合『北教組史 第4集』一九八二年
8 学テ反对闘争	一九六五年	青木宗也他『資料日本の教育と学テ裁判 第2巻現場教師証言編』一九七七年
9 協定書の廃止について	一九七一年以降	北海道教育委員会「協定の廃止について」二〇〇八年
10 私学助成	一九七〇年	北海道私立学校教職員組合50年史編集委員会『北海道私立学校教職員組合50年史』二〇〇二年
11 朝鮮人学校		『北海道新聞（小樽版）』一九六六年七月二三日
12 フリースクール	一九八〇年代	亀貝一義『教育ひとすじ半世紀～わが八十年の人生のスケッチ～』一九九三年

第四章 小学校・中学校

第一節 戦後の学校教育改革と子どもの環境

(1) 学校教育改革

1 教科書の本道自給	『北海道新聞』一九四七年七月五日
2 コア・カリキュラム	北海道第一師範学校男子部附属小学校『北一師附小の教育計画』一九四九年
3 学校給食の始まり	『北海道教育委員会公報』一九五二年六月一日
(2) 子どもの生活と教育環境	
4 引き揚げ・戦後開拓と学校教育	北海道教育委員会『北海道教育月報』五巻八号一九五四年一月
5 長期欠席児童	北海道教育委員会『教育月報』一九五三年
6 教室難と二部、三部授業	『北海道新聞』一九五四年三月二七日

第二節 高度経済成長下の学校教育

(1) 冷災害と炭鉱不況下の子どもたち

7 冷災害による児童生徒の状況と対策	北海道教育委員会事務局行政課「教育行政 政策（不遇児対策） 三〇年度」一九五五年
8 閉山地の学校	空知教育研究所『教育空知』二一六号一九六九年一〇月

(2) 公害教育と学校統廃合

9 公害教育	室蘭市教育委員会「公害教育に関する指導資料 1971 小学校指導用」一九七一年
10 中学校の統廃合	北の教育社『北の教育』No.五一 一九七四年一月

第三節 体力つくりと北方領土学習

11 児童生徒の体力の現状と課題	北海道教育委員会『教育ほっかいどう』二七三号一九八〇年八月
12 北方領土学習	北海道教育委員会『教育月報』No.二六〇 一九七七年九月

第四節 国際化への対応と学校週五日制

13 国際交流	北海道教育委員会『教育ほっかいどう』三三六号一九九四年一月
14 学校週五日制	北海道教育委員会、留萌管内市町村教育委員会『留萌教育』No.三〇四 一九九二年一月

第五節 私立の学校

15 北海道戦後最初の私立学校	日本三育学院『日本三育学院札幌教会小学校申請書』一九五一年三月一日
16 北海高等女学校併置中学校の募集	一九四七年 札幌大谷中・高等学校『札幌大谷学園七十年史』一九七七年
17 函館白百合学園の教員服務規程	一九五〇年 函館白百合学園『百周年記念誌』一九七八年
18 北星学園高等学校の修学旅行	北星学園中・高等学校「教務日誌 昭和二七年度」一九五三年

第五章 高等学校

第一節 戦後の高校設置

1 高校の設置認可方針

『北海道教育委員会公報』号外一九五二年二月二六日

2 高校の別科設置認可方針

『北海道教育委員会公報』号外一九五二年二月二六日

3 各種学校の設置認可方針

『北海道教育委員会公報』号外一九五二年二月二六日

第二節 新しい高校教育

4 「総合制実施通学区」

〔小樽工業高等学校〕30年史編集委員会『三十年史』一九七〇年

5 「男女共学」

北海道小樽潮陵高等学校創立90周年記念協賛会『潮陵九十年史』一九九三年

6 上士幌高校

北海道上士幌高等学校『農村地域社会学校としての高等学校の在り方』一九五七年

第三節 高校教育の課題と高校再編

7 入試テスト

『北海道新聞』一九六二年一月四日

8 「制服自由化」

『北海道新聞』一九七一年九月二九日

9 北星学園余市高校

一九八七年

北星学園余市高等学校『学校の挑戦 高校中退・不登校生を全国から受け入れたこの10年』一九九七年

10 高等学校長期収容対策

北海道高等学校長期収容対策検討協議会『北海道高等学校長期収容対策検討について』一九八四年

第六章 へき地教育

第一節 戦後復興期のへき地教育研究大会の広がりとはき地教育の充実

1 へき地の教育事情		北海道へき地教育振興会「へき地の教育事情 1954 第1号」一九五四年
2 単級複式教育振興連絡父母の会		父母の会結成準備委員会「北海道単級複式教育振興連絡父母の会 結成大会 資料」一九六一年
3 国の文教施策に対する要望書		北海道教育委員会『国の文教施策に対する要望書 昭和40年度』一九六五年
4 北海道学芸大学僻地教育研究所		『北海道学芸大学僻地教育研究所要覧 昭和三二年度版』一九五七年

第二節 山村留学による学校存続と学校・地域づくり

5 山村留学による学校存続の取り組み	一九八三～八七年	『日高町立千栄小学校 日高町立千栄中学校 閉校記念誌』一九九八年
6 自然体験留学制度		鹿追町留学センター「平成五年度前期 うりまく留学センター通信 集録第一号」一九九三年一〇月

第七章 障がいのある子供の教育

第一節 戦後特殊教育の黎明

(1) 盲学校、聾学校の教育の振興

1 盲学校、聾学校義務制の通知

一九四八年

〔北海道教育研究所〕「初等教育、中等教育、特殊教育」一九五七～六九年

(2) 特殊教育の機会拡充

2 特殊教育の就学奨励等の考え方

北海道教育委員会『北海道教育行政概要 昭和24年度』一九四九年

3 特殊児童の実態調査

北海道立教育研究所『研究紀要』三〇号一九五八年一二月

4 特殊教育の現状

北海道教育委員会『教育月報』No.一三〇 一九五九年六月

第二節 特殊教育の振興と養護学校教育の義務化

(1) 特殊学級の増設と盲・聾・養護学校の新設

5 北海道における特殊教育の現状

北海道教育庁財務課「特殊学校への就学奨励」（北海道教育庁施設課「特殊教育振興対策関係資料」一九六四年 所収）

6 特殊教育の現状

北海道教育委員会『教育月報』No.一九二 一九六七年一〇月

(2) 養護学校教育の義務化と特殊教育センターの設置

7 特殊教育振興のための条件整備

北海道教育委員会『教育月報』No.二四九 一九七五年三月

8 養護学校教育の義務制の実施

北海道教育庁管理部総務課『北海道の教育』一九七九年

9 特殊教育センター設置

特殊教育センター設置検討委員会「特殊教育センター設置に係る調査、研究報告書」一九八二年一月二四日

第三節 後期中等教育の機会拡充と特別支援教育への転換

(1) 高等部新学科設置と高等養護学校の増設

10 養護学校高等部の設置

「養護学校高等部整備計画検討委員会関係綴 平成三年度」一九九一年

11 後期中等教育の機会拡充

北海道教育委員会 小中・特殊教育課特殊学校振興係「公立特殊教育諸学校配置計画綴 平成一〇年度」一九九七年

(2) 特殊教育から特別支援教育への転換

12 学習障害児の実践的研究

「学習障害児に対する指導体制の充実事業専門家チーム会議 配付資料」二〇〇一～〇二年

第八章 高等教育

第一節 新制大学

1	大学制度改革案		北海道帝国大学大学制度審議会『大学制度改革案』（『北大百年史通説』一九八二年 所収）一九四七年九月二〇日
2	新制大学設置要望趣意書		北海道新制大学設置期成会「日本の希望北海道総合開発指導者育成のための新制大学設置要望趣意書」一九四八年
3	北海学院設立趣意書	一九四九年	北海学園創基百周年記念事業出版専門委員会『北海学園大学三十五年小史』一九八六年
4	北大教育学部への期待		北海教育評論社『北海教育評論』三巻八号一九五〇年一〇月
5	小樽商科大学短期大学部設置要綱		『小樽商科大学短期大学部設置要綱』（一九五一年）
第二節 私立大学・公立大学の整備			
6	北星学園大学の経済学部増設趣意書	一九五一年	北星学園大学50年史編集委員会『北星学園大学五十年史』二〇一六年
7	旭川大学再建案		学校法人旭川大学理事会・再建委員会「再建実施案」（旭川大学女子短期学部三十周年記念史編纂委員会「旭川大学女子短期学部三十年史」所収）一九七二年
8	公立短大の現状と到達点		内田穰吉、佐野豊『公立大学その現状と展望』一九八三年
9	釧路市立大学設置構想		釧路市「釧路市立大学設置構想」（釧路公立大学『釧路公立大学沿革史』一九九七年所収）一九八四年六月
第三節 高等教育の課題			
10	高等教育配置計画構想		北海道総合開発委員会文教部会高等学校配置計画構想検討小委員会『北海道における高等教育配置計画構想に関する報告』一九七七年
11	国立函館大学構想		北海道開発庁企画室「函館圏における高等教育機能の現状と整備の方向」一九八〇年
12	稚内北星学園短期大学における「幼児教育学科」の設置について		稚内北星学園短期大学設立準備委員会準備室「稚内北星学園短期大学における「幼児教育学科」の設置について」一九八四年一〇月二五日
13	北海道における高等教育機関の基本的方向について		北海道高等教育拡充整備促進協議会『北海道における高等教育機関の基本的方向について』一九九八年
14	高専の設置要領		『北海道新聞』一九六二年一月一九日
15	激しい誘致運動		『北海道新聞』一九六一年六月一八日
16	第1回卒業生の就職対策と現況	一九六六年八月	函館工業高等専門学校庶務課『学校だより復刻版No.1～No.88 創立25周年記念』一九八七年
17	各高専学生会会の動き		苫小牧工業高等専門学校学生会新聞班『苫高専にしき丘』七号一九六八年一二月六日

第九章 アイヌと教育

1 差別と学力保障への取り組み	一九五五年頃	荒井和子『先生はアイヌでしょ 私の心の師』二〇一三年
2 アイヌの唄とアイヌ踊		北海道教育図書刊行会『教育新潮』三巻八号一九五二年八月
3 アイヌ教育研究協議会の発足		北海道ウタリ協会『先駆者の集い』三二号(同『アイヌ史 北海道アイヌ協会北海道ウタリ協会活動史編』一九九四年 所収)一九八三年一月
4 教科書問題で文部省に抗議	一九八二年八月	北海道ウタリ協会『先駆者の集い』三二号(同『アイヌ史 北海道アイヌ協会北海道ウタリ協会活動史編』一九九四年 所収)一九八三年一月
5 偏向教育に抗議	一九八三年十一月	北海道ウタリ協会『先駆者の集い』三四号(同『アイヌ史 北海道アイヌ協会北海道ウタリ協会活動史編』一九九四年 所収)一九八四年一月
6 北海道大学経済学部における講義に対する公開質問状		アイヌ解放同盟「公開質問状」一九七七年
7 札幌市教育委員会による取り組み		札幌市教育委員会『アイヌの歴史・文化等に関する指導資料1』一九八六年
8 アイヌ民族による学力保障・学習活動		とかちエテケ・カンパの会「ピクニックのごあんない」一九九三年
9 教科書と学校教育	一九八〇～九二年頃	竹ヶ原幸朗『小学校用社会科教科書に描かれた〈アイヌ民族〉』(林炳澤、竹ヶ原 幸朗『教科書の中のアイヌ民族と朝鮮 自由学校遊ブックレット2』一九九四年 所収)
10 副読本の編さん		財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構「アイヌ民族に関する指導資料」2000年3月

第一〇章 職業教育・職業訓練・就職

第一節 職業教育

1 教育目標の設定	北海道教育庁管理部総務課「戦後北海道教育誌」一九七九年
2 農業科と工業科の目標	北海道教育委員会『北海道教育課程 教科の目標と学年目標』一九五三年
3 基本構想と方針	北海道教育委員会『北海道教育第2次計画書』一九五六年
4 産業構造との関連において	北海道産業教育審議会『北海道産業教育振興計画第一次答申』一九五八年二月九日
5 札幌地区での新設を目指して	北海道産業教育審議会『北海道立工業高校新設に関する建議』一九六一年二月二五日
6 社会の変化に対応する職業学科	北海道産業教育審議会『経済社会の進展に対応した本道高等学校における職業学科のあり方について（中間報告）』一九八八年七月一日
7 ある工業学科の閉科に当たって	倶知安高等学校『倶知安高等学校工業科 創立より閉科まで』一九八八年三月
8 職業系高校の統合の事例	留萌第一学区高校問題研究会（二高研）「留萌職業高等学校（仮称）の基本構想」一九九五年二月二三日
9 二一世紀を展望した職業教育	北海道産業教育審議会『21世紀を展望した本道職業教育のあり方について』一九九六年一〇月
10 高度成長期初期の各種学校	北海道私立専修学校各種学校連合会『北専各連創立四〇周年記念誌』一九八六年

第二節 公共職業訓練校と企業内学校

11 職業訓練の推進	北海道労働部職業訓練課『職業訓練推進の強化対策 新規学卒就職者の有技能化促進を中心に』〔一九七二年〕
12 北海道の公共職業訓練校	雇用問題研究会『全国公共職業安定所 職業訓練校 所在地一覧 昭和四七年版』一九七三年
13 ポリテクカレッジの設立	北海道職業能力開発大学校『Hokkaido Polytechnic College』二〇〇一年
14 企業内学校の沿革	〔富士製鉄室蘭高等工業学校〕『要覧』一九六二年
15 企業内学校のカリキュラム	日本製鋼所高等工業学校学校史編集委員会『鋼ぞわれら』一九八六年
16 企業内学校の高体連出場	日本製鋼所高等工業学校学校史編集委員会『鋼ぞわれら』一九八六年

第三節 就職・進路指導

17 北教組の取り組み	北教組小樽支部『小樽市中学校進路白書 1966』〔一九六六年〕
18 就職先の実態調査	北海道労働部『学卒就職者労働条件等実態調査報告書』〔一九七二年〕
19 若年道外就職者の動向	北海道『道政についての世論調査結果報告』一九七六年

第一章 社会教育

第一節 戦後初期の公民館活動

1 地域の問題を話し合う会

標茶村公民館『標茶公民』五号一九四九年八月

2 公民館建設請願

相内村連合青年団「昭和二十八年 社会教育関係綴」一九五三年

3 公民館の組織と事業

羽幌町公民館『いづみ 開館九周年記念発行』No.二八 一九五六年

第二節 地域青年活動・青年教育

4 青年団

「昭和三二年度遠地青協関係綴」一九五七年十月三日

5 青年教育体制

羽幌町公民館「公民館の概要（昭和38年10月1日現在）」1963年10月1日

6 青年学級①（放送教育）

八雲町春日青年学級『青年学級の問題点 放送教育の実状と問題点』一九六〇年

7 青年学級②

帯広市教育委員会『帯広市青年学級研究協議会資料 第三回』一九五九年

8 農村青年建設班

北海道農村青年建設班連絡協議会「農村青年建設班の活動」（同「昭和四〇年農業学園関係綴」所収）一九六五年二月

第三節 図書館

9 私立太平洋炭礦図書館①

太平洋炭礦図書館内読書タイムス編集部『読書タイムス』一号（『プランゲ文庫』所収）一九四八年一〇月一八日

10 私立太平洋炭礦図書館②

太平洋炭礦図書館内読書タイムス編集部『読書タイムス』一号（『プランゲ文庫』所収）一九四八年一〇月一八日

11 農村の図書館活動

置戸町豆図書館振興協議会『ミニミニ図書館のあゆみと現状』一九七三年

第四節 農村・農民の学習と教育

12 農民大学①

士別市中央公民館『ひろがり』四号一九六四年一月

13 農民大学②

士別市中央公民館『ひろがり』五号一九六四年二月

14 農民たちが直面している問題

第二回労農学習会実行委員会事務局「第三回労農学習会（中西別）への問題提起」一九七二年二月

第五節 労働者の文化活動

15 炭鉱の生活史をつくる

三菱美唄炭鉱文学会「炭鉱の生活史（資料集第三集）三菱美唄炭鉱」一九五六年

16 うたごえ運動

王子製紙主婦連絡協議会「主婦の窓」一九五九年一二月

第六節 郷土史・民衆史に学ぶ

17 女性史を学ぶ

北見女性史研究会『北見の女』創刊号一九七四年七月

18 地域の歴史の掘りおこし

丸瀬布郷土資料綴「中央道路開削に従事した一〇人墓所発見について報告」一九六八年七月七日

第七節 社会教育職員

19 社会教育職員の学習活動

オホーツク社会教育研究会「仮称「社会教育研究会」経過資料 自主的学習グループ組織化への足どり」一九八二年八月

第一二章 就学前教育・保育、子育て、児童福祉

第一節 一九五〇年代までの幼稚園・保育所の状況と乳児福祉の整備

1 幼児教育充実に乗り出す道教委

『北海道新聞』一九五四年二月五日

2 新幌内礦保育園

北海道炭礦汽船株式会社『炭光』七一号一九五三年九月

3 北海道立中央乳児院①

北海道中央乳児院『年報 創刊号』一九五四年

4 北海道立中央乳児院②

北海道中央乳児院『年報 創刊号』一九五四年

5 私達の手で作った託児所

「北大職組婦人部ニュース」九号（五十周年記念事業実行委員会「北大「子ども
の園」五十周年記念誌」二〇一〇年 所収）一九五九年二月

第二節 一九七〇年代の保育課題への対策と一九九〇年頃の公立縮小化

6 ウタリ実態調査」報告

北海道民生部「北海道ウタリ実態調査報告 昭和47年」一九七三年

7 夜間保育に関する状況

北海道民生部『夜間保育調査』一九七四年

8 道立保育専門学校

『北海道立保育専門学院四十年のあゆみ』一九九一年

9 地域に開かれた幼稚園

伊達市立さくら幼稚園『「社会の変化に対応した新しい学校運営等に関する調査
研究」研究協力校報告書』一九九四年

第一三章 少年司法福祉

第一節 占領下における少年矯正・少年教護

(1) 少年矯正・少年教護領域における「民主主義的改善」の要請

1 保護矯正教育の民主主義的改善

札幌少年審判所「少年院少年保護団体に於ける保護矯正教育の民主主義的改善に関する件」一九四六年九月二三日

2 進駐軍の保護団体視察

旭川少年審判所「進駐軍の保護団体視察の件」一九四七年八月四日

(2) 少年教護院の管理運営及び教護の刷新

3 少年教護院の管理運営

北海道庁教育民生部「少年教護院の管理及院生教護の刷新に関する件」一九四六年十一月四日

(3) 学校教育法施行と少年保護団体・少年教護院

4 学習指導要領一般篇の送付

旭川少年審判所「学習指導要領一般篇の送付について」一九四七年七月三〇日

第二節 少年院・教護院在籍者に対する教育保障

(1) 北海道方式による教護院在籍児に対する学籍と卒業の扱い

5 学令簿及び指導要録の取扱

『北海道教育委員会公報』一七二四号一九五七年一月一日

第三節 少年矯正・少年教護における制度改革の動き

(1) 日吉学院閉院

6 道内教護院における充足率の推移

全国教護院協議会『非行問題』一七八号一九七九年一月

(2) 教護院入所児童の高等学校進学

7 教護院在籍児童に対する特別育成費の支弁

北海道生活福祉部「教護院入所児童の高等学校進学の取扱について」一九八九年七月一五日

(3) 児童福祉法改正に向けての動き

8 公教育導入は一合目

東北・北海道地区教護院協議会『北方教護』平成四年度三・四合併号一九九三年三月